

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-750	12-109	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>Olive oil intake and CHD in the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition Spanish cohort.</p> <p>European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition Spanish cohort. (EPIC) スペインコホートによるオリーブオイルの摂取と冠動脈疾患について</p>		
執筆者		
Buckland G, Travier N, Barricarte A, Ardanaz E, Moreno-Iribas C, Sánchez MJ, et al.		
掲載誌		
Br J Nutr. 2012 Dec 14;108(11):2075-82		
キーワード		
オリーブオイル、冠動脈疾患イベント、スペイン前向き調査、地中海料理		
要 旨		
<p>背景：</p> <p>オリーブオイルは、よく心保護特性のために知られているが、そのオリーブオイルの消費量を示す疫学データが冠動脈心疾患イベントの発症を減少させるという研究はまだ限られている。したがって、我々は、オリーブオイルと冠動脈疾患欧州の前向き調査が癌と栄養（欧州の大規模コホート研究 the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition : EPIC）に与える影響についてスペインの前向き研究で検討した。</p> <p>方法：</p> <p>1992年から1996年まで5 EPIC-スペインセンターからベースラインで冠動脈心疾患イベントを起こしていない40,142人（38%男性）を対象とし、2004年まで追跡した。ベースライン時の日常のライフスタイルについては、インタビュー調査で集められた。潜在的な交絡因子について調整し、Cox 比例回帰モデルを用いて冠動脈疾患イベントおよびオリーブオイル摂取量（エネルギー調整後の四分位数とそれぞれは10g/Dのあたり8368 kJの（2000キロカロリー）の増分）との関係を評価した。</p> <p>結果：</p> <p>10.4年間の追跡期間中に、587（79%が男性）CHD イベントがあった。オリーブオイルの摂取は冠動脈疾患のリスクと負の関係があった（ハザード比（HR）0.93、95%CL:0-87、10g/Dのあたり8368 kJの（2000キロカロリー）と、HR0.78 : 95%CL0-59）。オリーブオイルの摂取量（per 10 g/d per 8368 kJ (2000 kcal)）と冠動脈疾患は喫煙者（冠動脈のリスクを11%減少させた、P値0.048）において負の相関であった。また軽度のアルコール飲酒は25%のCHDリスクを減少させた（$P < 0.001$）。バージンオリーブオイルの摂取では14%減少CHDリスクを減少させた（$P = 0.072$）。</p> <p>結論：</p> <p>オリーブオイルの摂取では冠動脈疾患のリスクを下げる事がわかった。冠動脈疾患の発症を減少させるためにオリーブオイルを使用した伝統的な地中海食を続けることを強調している。</p>		